

2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 001

釣行月日: 2022年06月01日(水) 05:15~18:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 18°C

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 104尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

早い所では5月から解禁している所もあり皆釣りをしていると思われる。

6月からでいいやとこのところズボラになっているかも。

今年の初釣りとなるけど, 体が慣れてないこともありもたつくだらうから慣らし運転ということで...

オトリ店にも連絡をせずに行ったもんだからちよっぴり驚いた様子だった。最初は何時もの赤木川のつもりだったけど, もう入る所が無いくらいということの様子。のんびりやりたいので人の少ない所は? 解禁にそんな場所があるわけがない。でも請川では誰一人居なかった。透明度があるので石は白くなさそうなので入ってみることにする。

まずは瀬肩らしいポイント(明確な瀬肩とは言い難い)の少し上からスタート。糸をたるませオトリを泳がせる。何か変化があったような気がして引き寄せてみると逆バリが外れていた。深めに刺していたので多分蹴られたのであろう。

きっと掛かると思い再スタート。予想通り天然が掛かりサイズもころあいで一日楽しめそう。

人が来ないうちに荒ぼくやりポイントを少しづつ下に移動しながら橋まで下る。大体掛かるポイント掴んでおいてあるポイントで掛からなくなったら掛かったポイントに戻り丹念に掛けるやり方で行ったり来たり。夕方になり全体的に掛かるペースも悪くなりあと数尾で100尾となるし, ここまで来たらなら目印が見えなくなるまででもやる覚悟で頑張る。

なかなか掛からないので今までやっていない上流の小石底でも竿を出すと小ぶりながら掛かってくれた。

何とか時間も掛からず目的を達成できた。解禁でこんなに掛かるとは思ってもみなかった。

今年の熊野はほんとのところどうなの? 初期だけなのか? 今年は釣り人で賑わいそう! ?



No. 002

釣行月日: 2022年06月04日(土) 07:30~17:30

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 18°C

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 66尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

解禁の翌日から足の筋肉痛で歩くのがちよっと辛い。3日目でようやく何とか収まってきたような気がしてきた。

本流はどうかと試しに入ってみることにする。今までは右岸寄りに流れがあったけど今年は左岸側の流れに変わっていた。石の大きさも変わっていた。まずは左岸側からやってみる。一尾目はバレル。次に掛かる。

連続ではどうかと期待してみるも時期的にまだ早いのか掛かるポイントが点在してペースは良くない。

流れと水深と川底の石は大き目で見た目は良いけど掛からない。早めに見切って右岸に変わる。

昨年良かった所が小石で埋まってしまう下へ移動しながら掛かるポイントを調査。

結果的に大小不揃いの石が点在するところのポイントが良いように感じた。本流は全体的に小ぶりか?

午後から風が強くて釣り辛く風も冷たく肌寒かった。今年は初期にしては本流は掛かりは良いように思う。

8月頃に期待したい。



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 003

釣行月日: 2022年06月05日(日) 08:00~15:30

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 赤木川・四村川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 32尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨晩は宿で常連の釣り人らで夜バーベキューでアユ談義。結局は結論の出ない話で終了。疲れて爆睡。

まずは赤木川に行ってみる。先行者が居たので上流側に入ってみる。

浅瀬で掛かると期待してやってみる。しかし一向に掛からない。

先行者は竿を畳んで居なくなった。1時間経ってもオトリ変わらず。

下に移動して瀬で何とか1尾掛かっただけで他は坊主ハゼばかり。1時間半で1尾と寂しい。

請川に戻り解禁の時のポイントへと行ってみたが3人入っていた。入り辛かったの上の瀬肩の鏡でやってみる。

群ればかりかな? と思っていたけど中には追うのも居たのかバラシもあったが、6尾程黄色いアユが掛かってくれた。

もうそんなに掛かれないと判断して上流の四村川へ歩いて移動。細い瀬ではあるけど竿を出してみる。数尾瀬で掛かるも同じところでは掛からない。どんどん上がって耳打まで来たが追う気配がない。小さな群れがいるだけ。

仕方なしに元の場所に戻ると先行者が居なくなっていたので最上流から釣り下る。

解禁日みたいに掛からず。掛かりそうな場所を攻めながら下へ下へ移動。橋の所まで移動して30尾チョイ。

3時頃に雨がパラパラしてきたので30尾くらいになったところで終了。

他の釣り人も厳しそうだったのか場所移動してそうな雰囲気を感じた。



No. 004

釣行月日: 2022年06月12日(日) 07:40~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 16℃

河川: 安曇川・朽木 (滋賀県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 24尾, サイズ: 11cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨

内容:

週末の天気が悪そうなので近場にする。しかし、その計画が裏目になったような気がする。

オトリ店に到着した時、風が強く寒い。ここまで来て帰っても… 船橋に来た時風の通り道か竿を出せるような気がしない。竿を持つだけで精一杯の感じがした。下をみると草木があまり揺れてなさそうなので下流の出会い近くまでへ移動。いくらかマシ? 準備をしてポイントへ向かうも水は冷たく足が痺れる。

寄れで掛かるのを待つが掛かる気配が無い。少し流れのある所で何とか15cm程のが掛かる。

その後ピリが掛かり後が続かず下流へ移動しても掛からない。周りも掛かっていないようだ。船橋まで歩いてさらに上流を目指して行くと護岸を工事したらしく、昨年までの面影が無くなり浅くチャラ場と化していた。おまけに直線になってしまっている。これではまだ落ち着いていないので掛からないのでは? さらにキャンプ場まで来たが掛かりそうなポイントが見つからず。さらに水管橋、そして村上オトリ店近くまで来てしまった。

釣り人多く何とか入れそうなポイントでやってみたが掛からない。

この時点で昼頃、天然4尾のうちオトリに使えるのは朝一掛かった1尾のみ。あとはピリと養殖1尾。

今日はツ抜け出来ず終了か?

最後、水管橋の上の右岸側が程度の大きさの石が点在し色も良さそうなので、もう少し頑張ってみることにした。

オトリも疲労してきており、温存していた天然に望みを託す。ここで掛かるはずなのに…

なかなか掛からないアユも見えない。オトリをちょっと浮かせて下流へ反転させる、所謂スパイラルしたところで反応したのか待望のアユが掛かった。十分に使えるサイズ。これでもう少し釣りが出来そう。オトリが替わると嘘のように掛かりだす。時間もあと思うけど時速5尾程掛かりツ抜けどころか20尾を上回る結果となった。

流石に強風と寒さで何時もよりも早めに終了。しかし帰り歩く距離が長すぎ、いろんな意味で非常に疲れた。

2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]



No. 005

釣行月日: 2022年06月18日(土) 08:10~17:00

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 27尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): 一角: 6号4本錨

内容:

今年はあまりアユが見えない。掛かる場所を探すのに苦勞する。

今日は風が無いので前回よりはオトリ操作に集中できそう。昨年のように何処でも泳がせれば掛かることはない。

船橋下流から水管橋まで歩きながらやる。夏頃に状況が良くなることを期待。



No. 006

釣行月日: 2022年06月19日(日) 05:00~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 45尾, サイズ: 14cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

祝解禁。何時もの栃本に行く。下見に行っていないので川相が変わっているか心配。4時頃に着いたけど暗くてあまり良く見えない。早めの朝食を済ませ準備する。山国周辺は大混雑だろうけどこちらはそのような心配はなさそう。

5時時点で栃本橋下流に一人しか見えない。一発目は根掛。次はと思ったらオイカワ。三度目の正直でアユ。

オトリが替われれば循環が良くなる。入れ掛はないものの良型が掛かりだす。引きと重量感でそれなりの満足感。

少しずつ釣り人も増えてきたけど、上下せいぜい二人程で密になることは無かった。



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.007

釣行月日: 2022年06月23日(木) 07:30~17:20

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 35尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

解禁から数日後, 天気もまずまずそうなので出かけることに。

亀の甲橋周辺に来てみるとそれなりのポイントは埋まっていた。

オトリ1尾なのでまずは1ヶ所でのんびりと掛かるまで辛抱。

ジリ含めて5尾掛かる。時間が来ればもう少し掛かる様になるかもしれないけど, 別のポイントへ移動。

小場所狙いでやってみても掛からず。周りもそんなに掛かってなさそう。

下流へ移動。昨年まで掛かっていた所は掛からない。

掛かる所は瀬の方が掛かる様で場所むらがひどくてポイント探しが大変。大きさも小さいものが半数。

これからしばらくはポイント探しに苦労しそう。



No.008

釣行月日: 2022年06月25日(土) 10:00~18:30

天気: 曇時々晴一時雷雨, 気温: ?, 水温: 26℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 33尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日は家の用事で行く気は無かったけど, 天気が良さそうなので早く済ませ釣行することにした。

竿を出せたのは10時頃, 殿橋の上流で空いていたので入ってみる。養殖1尾でスタート。

オトリが替わるまで無理はできない。辛抱して何とか掛かる。次も掛かるも糸が石に擦れていたのか途中で切れて振り

出しに戻る。風も強く厳しい釣りになりそう。焦っても仕方がないので天然に変わるまでまた辛抱の釣り。

掛かりそうなポイントでようやく天然に変わる。次は切れないようにと祈りながら2尾目。8尾まで順調だった。

しかし, 掛かるもまた糸が切れる。どうも今日は調子が出ないというか, トラブルが多すぎ。4尾も損失。

気を取り直しポツリポツリと掛かる。

途中, 雨粒が落ちてきて竿がビリッと来るのでヤバイと思い, 一旦竿を置く。段々と雨粒が多くなり急いで車に避難。

暫くして夕立となりずぶ濡れにならずに済んだ。

雨雲を見ると30分ほど移動しそうなので音楽でも聴きながら雨の止むのを待つ。

予報通り止んだので釣り再開。風もだいぶ収まって良かった。

釣り人も殆ど居なくなり今までやれなかったポイントを攻めて30尾超え。

根掛かり多く, 水温も高くなり厳しい釣りとなった。



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.009

釣行月日: 2022年06月26日(日) 07:30~18:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 47尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

コキノ橋下流の超浅場に入る。養殖1尾からスタート。1時間ほどで10尾程掛かる。嘘みたい。

これが一日続けばすごいことになるけど、まずこんなことは無い。

段々と釣り人も増えてきて、段々と掛かるペースが落ちてきた。

ポイントを変えながらやってポツリポツリと拾い釣り。昨日やったところまで下がってきた。

それでも掛かる所は掛かるようだ。石裏や流れの弱い所でも掛かる様になってきたように感じる。



No.010

釣行月日: 2022年07月01日(金) 06:40~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 71尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

解禁からちょうど一ヶ月, その後どうなのだろう?

気温も上がりアユも成長し活性も良くなってきた頃かなあ。期待していくことにしてみた。

あまり釣果は良くないと言われており心配になってきた。解禁と同じ場所に入ってみる。

オトリ店の情報によると毎日の様に入っているとのこと。さあ、掛かるか? 養殖から天然に変わるまで慎重に...

30分くらいかかってようやくオトリ変わる。解禁の様に簡単に次から次へと掛かることは無い。しかし、掛かる範囲が

岸寄りへと変わっているように感じる。広範囲に攻めて午前中36尾。午後からは風も出てきて鏡が波立つようになれば

トロ場も掛かるのではと、ポイントを変更。25尾程掛かり、午前中あまり攻めていないポイントをやって午後は35尾。

それなりの釣果となって一安心。アユは居る。8月が本番なることを期待。坊主ハゼの猛襲は覚悟しておかねば。

<https://www.youtube.com/watch?v=jNLzdbx7-2o>



No.011

釣行月日: 2022年07月02日(土) 07:30~17:20

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 50尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日も天気良さそう。今回は本流へ行ってみる。

何時ものポイントから入る。はるか上流には釣り人がこれからという所。左岸の方から釣り開始。

どうもオトリが上流へ行ってくれず下流方向ばかりむかってしまう。仕方なしにオトリ任せにしてみる。ある所で止まってくれたのでしばし待つことにする。まぐれか掛かった。小ぶりではあるがオトリには使える。5尾までは順調。しかし、坊主ハゼが調子を狂わせてしまう。仕掛けが滅茶苦茶になり張り替え直し天井糸を調整して再スタートとオトリを送り出す。目印を引きずって泳いでいく。何かいつもと違うな~と思った瞬間、糸が切れた? いや違う。天井糸から水中糸が外れていた。先程長さを調整したときに緩んだに違いない。かなりショック!

それからは掛からず、右岸の方に移動。

気を取り直し再開。前回の釣行で掛かったポイントでやるもイマイチ掛からず。午前中25尾。

車まで戻り冷たいコーヒーで休憩。午後からは左岸側からやってみたが掛からず。右岸に変更してもあまり掛からず、少し上のトコの岸寄りやってみたら仕掛けが切れたりバラシはあったもののちょっとした間入れ掛り。

坊主ハゼの水差しには難儀する。午後は何とか25尾掛かりきりの良いところで納竿することにした。

<https://youtu.be/xHYRH1UruT4>



No.012

釣行月日: 2022年07月10日(日) 07:35~18:30

天気: 曇時々晴一時雨, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁り無し

釣果: 49尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

前回と同じポイントに入ってみることにした。

オトリ店からオトリを買い少し下流へ向かう。しかし、もう川から上がっている人がいた。

支度していると別の軽トラのおちゃんが水が入れ替わり水温が下がった影響か掛かりにくいとのこと。

水温を計ったら21℃。今の時期にしたらちょっと低いかな? まあ、気ままにやってみよう。

養殖から野アユに変えるまでがどうか? 最初はバラシで調子が上がらない。その後思ったところでは反応が無い。少しずつポイントを変えて何とか野アユに変えることができた。掛かるテンポはあまり良くない。

掛かることを探しながら移動していく。下流のほうで釣り人が減ってきたので移動してみる。

入れ掛は殆どないけど、飽きない程度に掛かる。

途中、大粒の雨が降りだしてどうなるかと思ったが直ぐに止んで良かった。夕方6時半までやって49尾。動画

<https://youtu.be/aNp21ol1bDU>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.013

釣行月日: 2022年07月16日(土) 08:20~18:30

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁り無し

釣果: 40尾, サイズ: 14cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

神吉地区の大会。報知の全国大会にこの神吉地区からシード含めて4人も行くことになったらしい。凄いことです。

8時集合で少ししてから開始。亀の甲橋上流から始める。瀬落ちからやるもなかなか掛からない。

毎日攻められているので結構厳しい。瀬でようやくオトリが替わり何とかポツリポツリ掛かる。

そうこうしてるうちに11時で終了。オトリ込みの16尾で3位。皆で昼食後、掛かった12尾を欲しい方に進呈。

養殖2尾と天然2尾でプライベートの釣り。橋の下まで釣り下って午後からは26尾。合計40尾と上出来。動画

<https://youtu.be/gXMLRG96EUg>



No.014

釣行月日: 2022年07月17日(日) 07:50~18:15

天気: 曇時々晴一時雨, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁り無し

釣果: 26尾, サイズ: 13cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日は魚ヶ淵に入ってみる。昨年と同じ場所から始める。大石周辺を攻めても掛からない。下へ下へ移動しながらやるも一向に掛からない。瀬で当たりがでてバレル。次によく掛かった。

やっと野アユに変わってテンポは悪いがポツリポツリ。さらに下へ行き大石周辺で掛かる。引きは最高。

大石の頭で掛かった?でも引きずり込まれた?1尾損失。淵に移動して2尾追加。

吊橋周辺を攻めてもあまり掛からず。根掛で回収できない、1尾損失。結局16尾。

栃本へ移動し始めるも雨が降り出したので即終了。山国へ移動するも、釣り人が多いので入る所が見つからず。

仕方なしに昨日と同じ亀の甲橋に。雨が降ったりやんだり気分が乗らず遅くまで粘っても26尾とモヤモヤ感が...

動画 <https://youtu.be/rA9zk77fQ34>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.015

釣行月日: 2022年07月18日(月) 07:30~16:30

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 19°C

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: 約10cm程高水, 薄濁り

釣果: 52尾, サイズ: 12cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

オトリ店で券とオトリ1尾購入。店主曰く「もう1尾もって行き」。いやあかんかったらまた買いに来るから...

何回か確認されたが... 何時もの船橋へ。薄濁りとやはり水が高い。

安曇川に来て良かったのか? 上桂川にしておけば... 今更方向転換するわけには行かず。

上流はオトリが止まりそうもないので下流のヘチの寄れでやってみることにした。

しかし, 予想に反し簡単に野アユに変えることができた。次も掛かり気分上昇気味になってきた。

何台か車が入ってきては皆引き返してしまい釣り人誰も居ない。一時, 橋の上流に入っていたが途中でいなくなった。

結局, 終日一人で釣り殆ど午前中での釣果で午後からは釣り返しが聞かず。型は平均上桂川より良かった。

6月よりも掛かりは良くなってきた様感じた(約倍の釣果)。水が落ちついたら再度挑戦。

次はもう少し釣果は上がりそう。動画 <https://youtu.be/ggMz9pG8m98>



No.016

釣行月日: 2022年07月23日(土) 06:50~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 19°C

河川: 赤木川(和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 71尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

上桂川, 安曇川はちょっと水が高そうだし熊野の支流の方が良さそうな気がしたので南へ走る。

オトリを調達して今年初めて赤木川の小口ポイントへ入ってみる。何時もの所から野アユを交換しようと始めて見る。

直ぐに掛かったけど, 次は坊主ハゼが掛かりそれからペースが乱れ, 根掛が多発して循環が悪く釣果が伸びない。焦る

と悪循環となりオトリを弱らせてしますので, 心を落ち着かせて泳がせに徹する。今年はどうもこのポイントは掛から

ない。橋の下流の瀬の流れの緩やかな岸寄りで良く追ってきた。下へ下りながらポイントを探ってみた。1ヶ所では続

かずポイントを変える必要があった。

最後, 気になる浅トロを攻めてみたが追いが無かった。時期的? 時間? なのか掛かればもう少し数が稼げたのに...

しかし, 十分楽しめた。動画 <https://youtu.be/PQFA1ACuKgw>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.017

釣行月日: 2022年07月29日(金) 07:35~18:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 63尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

ちょっと水も引いて濁りもとれたので行ってみる。船橋の下流でオトリを交換して上流へ歩く。

人が多くポイント探しに苦労する。

水管橋まで来てしまいあまり良さそうなポイントは見つからず, 空いているポイントで辛抱の釣り。

時折掛かってポイントを少しずつ変えては掛ける。浅場も結構掛かってくれた。

最後, 船橋上流のチャラでちょいとばかし入れ掛りもあって楽しめた。動画 <https://youtu.be/qhfCmeHEr-o>



No.018

釣行月日: 2022年07月30日(土) 07:50~18:10

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 上桂川(京都府)

水況: 若干高水, 濁り無し

釣果: 34尾, サイズ: 14cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

子供の理科の自由研究に各河川毎の鮎について調査ということでなるべく数を釣りたい。

コキノ橋下流へ入ろうと思ったが先客が入っている。下流の階段折口では人が居なかったので入ってみる。

ちょっと水が高いような? 手前の石の色が悪い。どうも様子が変わったか?

色々探るもオトリ変わらず。1尾しかないので弱らせないようにと野アユが掛かるまで慎重に扱わなくてはならない。

上流へ移動しながらようやく瀬の脇で掛かった。オトリが替わればいくら掛かるペースが良くなった気がする。

上流までいろいろと探って何とか掛かるポイントを頭にインプット。

夕方浅場で強烈な当たりに興奮。この付近の石の色が良かった。動画 <https://youtu.be/gBR0V-zYs-w>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 019

釣行月日: 2022年07月31日(日) 07:30~18:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 22℃

河川: 安曇川・朽木(滋賀県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 61尾, サイズ: 10cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

今日は休むか釣りに行くかかなり悩んだ挙句, 行くことにした。凡そ1時間くらいで行ける安曇川へ。

体も結構疲れて歩くつもりは無かったけど, 結局は暑い中歩いてしまった。

釣り人多くポイントにはそれなりに居るので掛かるポイントを探すのにウロウロ。

数掛かる所はあまりなく時間にも寄るのだが... 工事で好場のポイントが消えたのは残念でならない。動画

<https://youtu.be/71TYvdnaF8U>



No. 020

釣行月日: 2022年08月07日(日) 06:30~18:00

天気: 曇後晴後曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: 減水気味, 濁り無し

釣果: 112尾, サイズ: 10cm~19cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG, 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

暦のうえでは立秋になる様で, 少しは気温が下がってほしいもの。

日が出るとかなり暑く流れの緩いヘチでは水温の上昇が大きい。

気付かずにいると曳舟のアユが熱中症になり大変なことになってしまう。午前中は57程掛かりオトリ缶に戻る途中でかなりのアユがダウンしてしまった。オトリ缶を水深のある所に移動させて午後から再開。

午後2時頃雲が沸き立ってきて雷が鳴る。遠いからまだましと思ってやったら竿から手にパチッと静電気が走る。

これはヤバイと思い急いで竿を畳み車でちょっと待機。雨雲を見ると30分くらいで通過しそうなので待ってみる。

少し明るくなって風も弱まったし再開する。

あるエリアをぐるりと一周してみて良さそうなところで丁寧に泳がせると掛かった。

曇ると川面が白くなって目印が見辛いのが難点。

まあ, 今年は天然遡上が多いと言われてる様だが, 釣果からもその通りとなるのかなあ!

今回は自分含めて見える範囲では2人で貸し切り状態。動画 <https://youtu.be/j-NXde3GSEI>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.021

釣行月日: 2022年08月15日(月) 06:40~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 26℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 49尾, サイズ: 10cm~23cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, キメラ: 6.5号4本錨

内容:

有田川は今年初めての釣行。年券を買ってから入川。ブドウ園周辺に入ってみる。瀬肩から始める。

鮎はあちらこちら見るのに掛からない。下に下りながら攻めるも掛からない。

あまり無理をするとオトリが弱ってしまい、後の釣果に大きな差が出てくる。約1時間後に待望の野鮎が来た。それからは何とか順調に掛かる様になった。

しかし、水温が高すぎるため曳舟を水中に沈めても弱って死んでしまう。特に型のよいものほど死んでしまう。

場所移動もままならずかなりの神経を費やしてしまった。水温が下がれば釣果はまだ上がると思われる。

暫く待つしかないのか? 動画 <https://youtu.be/BoRV6vrZVKM>



No.022

釣行月日: 2022年08月16日(火) 07:30~17:00

天気: 曇時々晴, 気温: ?, 水温: 27℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 46尾, サイズ: 10cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日の疲れから朝から雨だったら止めようと思っていたけど、何とかもちそうなので行くことに。

オトリ缶を深めに浸けた状態でもかなりの数の鮎が死んでいた。

かなりショックです。帰る頃にはさらに死ぬかもしれない。高水温には悩まされる。

場所もそんなに移動できないだろうし、昨日のポイントのトレースになってしまう。

昨日とほぼ同じペースで掛かった。水温が下がるまで暫く待つことにしよう。動画 <https://youtu.be/beeeFpHLLco>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 023

釣行月日: 2022年08月19日(金) 08:00~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 17℃

河川: *****

水況: 平水, 薄濁り

釣果: 62尾, サイズ: 14cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

日本海側の河川が気になっていて、情報も殆どないためオトリ店に連絡してみた。久しぶりだったのでどうなんだろう？ 何とか釣りは出来そうなので思い切って遠征してみることにしてみる。

高速道路が通行止めになっているので迂回して行くことになる。

早めにSAに着いたのでそこから最寄りのICを出て下道に切り替えて道の駅で海と空を眺めながら休憩。

7時頃にオトリ店に到着するようにゆっくりと向かう。少しオトリ店で状況を伺い入川。

第一候補のポイントには車が3台止まっており諦め第2候補へ... ここも橋から川見をしているようでここもパス。

次は1台だけ止まっていたので、ここでやってみようと思てたら3台の車がやってきた。今日はやたら人が多いなあ。

着替えて良さそうなポイントに向かう。

しかし、前日の濁りの影響か石に泥が被っている。周辺には食み痕もあるので何とか釣りは出来そう。

水温が低いのか水の浸かった足は痺れるくらいで20℃くらいか？ 水温計で実際計てみると17℃とびっくり。先週の近畿では27℃とはえらい違いだ。水温によるオトリの弱りは気にすることはなさそう。最初は掛かるのか心配したが、掛かり一安心。開始直後は厳しかったが水温が上がってくるとアユの活性が上がったのか掛かるテンポも良くなってきた。何時もだとヘチを蛇行させると掛かるのだが、まだ掛からなかった。これからなのか？ 9月頃が良いのか？

天気が安定して欲しい。 動画 https://youtu.be/sB-_dadaToQ



No. 024

釣行月日: 2022年08月20日(土) 08:00~12:00

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 20℃

河川: *****

水況: ほぼ平水, 濁り無し

釣果: 21尾, サイズ: 16cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今日の天気は一転して曇りから雨の予報。もしかしたら昼までの釣りになるかもしれない。

オトリ店の方は隣河川を勧められ今日はその川へ行くことにしてみる。型はさらに良いとのこと。

入川場所を教えてください早急向かう。

既に4台の車が止まっている。幾つかのポイントに入る余地があり行ってみる。左岸側と言われていたが上流側から雨で増水するかもしれないので、まずは右岸側からやってみることにした。右岸側の方が大きめの石が入っている様に見える。最初の3尾は良いペースで掛かるも風が強すぎて竿さばきがうまくいかないことがあった。当たりの弱いのも多くありバレも頻発した。雨が降り出すと風は収まってきた。しかし段々と寒くなり雨足も強くなってきた。目印となっていた石の波立ちが無くなってきた。水位が上がってきたのとゴミも流れていて濁りで川底の石が段々と見えなくなってきたので、本日の釣りは断念した。安定したらまたチャレンジしたいと思った。 動画

<https://youtu.be/s5RgRy57qWw>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 025

釣行月日: 2022年08月27日(土) 06:45~17:30

天気: 曇, 気温: ?, 水温: 23°C

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: ほぼ平水, 濁無し

釣果: 42尾, サイズ: 10cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

ダムの放水も止まって濁りも薄くなっているので三桁ポイントへ行ってみる。水が出る度に川底など川相が変わってしまう。小石で埋まった所, 粗い石が出てきたと所とあるが前回よく掛かった所は何故かさっぱり掛からない。

まだ落ちていない? 居場所が変わった? 色々とあーだこうだと考えなら歩きポイントを探る。

良さそうなポイントを見つけたけど掛かるペースはそれほどでもない。しかし他のポイントが駄目なので...

夕方39尾であと1尾で40尾と目印が一気に斜めに吸い込まれたと思ったら切れて38尾。

あまりにも悔しいので仕掛けを張り直し39尾、40尾と獲り込めたが溜める度に冷や冷やしながら引き抜いた。

少し時間もあってまだ明るかったのもうちょっとやってみて2尾追加。ようやくポイントが判ってきたけど終了。

今夜反省して明日をどう釣るか? 動画 <https://youtu.be/EUrVlyCDGKg>



No. 026

釣行月日: 2022年08月28日(日) 07:40~17:10

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 24°C

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 減水気味, 濁無し

釣果: 73尾, サイズ: 10cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技スペシャル TYPE S 90

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

解禁に入った所でやろうと行くと, 橋の辺りに人が見える。

着替えて河原に降りてみると近所の人か? 投網をやっているようだ。

直ぐに移動すだろうから上流側から釣り下る様にしよう。ここも川相が変わって上流の瀬肩が悪くなってしまった。

最初オトリが替わるかがポイント。掛かったのは14cm程の小型。3尾程は順調に掛かる。どうも小型しかいないのか?

入れ掛りポイントを見つけられずに橋まで行って午前中30尾。宿から弁当を頂いているので昼食後, 上流から再開。

今回は水温は痙攣するほど上がっていないのでオトリも死んでしまうことは無かった。小石底の瀬肩でも掛かる。

今回判ったことはヘチでよく掛かったということ。

バレも多発して気分は半減。それなりに獲り込めてれば80~90尾はいただろうに...

針が合わないのか? 課題の残った釣行になってしまった。今後の天気が心配。動画 <https://youtu.be/wjLRTW2Sdq8>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.027

釣行月日: 2022年09月03日(土) 06:45~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 10cm程高水

釣果: 97尾, サイズ: 12cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

いつも何処のポイントに入ろうか迷う。水位が高くなっているようで本流はどうかと考えたあげく入川が楽な請川へ。先週と同じ場所になっていまいけど… 10cm程高くなっている。河原の白い石まで水が来ている。

元々浅かったので釣りにはちょうど良いかも。ほとんど浅いところばかり攻めてみたけど意外と掛かった。

当たりが弱く、掛かり所も顔周辺が多かった。型は全体的に小さくなっている、これはポイントの問題?

三桁まであと3尾だったが鼻カン通したら瀕死状態、集中力も切れて止めることにした。

受けそこない、バレなどのちょっとしたことがこんなところで影響するとは… 動画 <https://youtu.be/H9PTik6frUM>



No.028

釣行月日: 2022年09月10日(土) 08:00~17:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: *****

水況: 若干高水, 薄濁り

釣果: 44尾, サイズ: 15cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.3

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

今期最後の遠征?になるかも。関東からは藤吉さんらも来られるそうで、オトリ店にほぼ同時刻に到着。

久しぶりなので少し駄弁ってから第一河川に。

昨日の雨か笹濁りで川底が見えないがヘチでは食み痕はあるのでまあ何とかなるだろう。

オトリ一尾を船に入れて上流へ入る。最初は浅い瀬肩から始める。濁っていて石の色が判らないので掛かる気がしない。すぐに諦め、上流の瀬落ちをやってみる。

しかし、掛かったのかエビになったのかためようとしたときに切れてしまう。

100m程離れたオトリ缶まで戻らないといけない。

汗だくだくになって戻り0.3号に張り替えオトリ缶の場所から再スタート。

手前の流れの緩いところで待つこと殆どなく掛かる。危ない掛かりだったが何とか獲り込み成功。

周辺で10尾前後掛けて上流へ移動。掛かる場所を探しながらやって何とか40尾超え。

同じところでは数は掛からないけど、サイズは20cm前後で釣りごたえは十分満足できた。動画

<https://youtu.be/gWUHX23k4fo>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 029

釣行月日: 2022年09月11日(日) 08:30~17:00

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: *****

水況: 平水, 濁無し

釣果: 36尾, サイズ: 16cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

藤吉さんらは体力的に厳しいので今日は釣りはせず帰られるとのこと。今日は濁りも取れて綺麗な水と石が輝いていて条件的には良さそう。しかし釣り人が多く入る場所に苦勞する。まずはオトリ缶のところから開始。最初は3尾程掛かるも蹴られてから掛からなくなり周辺を移動しながらやる。掛かっても瀬を下られて掛かる度に自分も下ってためて引き抜く。何度もやると体力消耗…。しまいには引き抜いて途中で切れてパ〜。

次は上流の浅瀬でやってみる。昨日藤吉さんらが結構掛かったとう所。石の色は良く掛からないことはないだろう。

入れ掛りはないけどポイントを変えてポツリポツリではあるものの掛かる。

しかし上下見える範囲では釣り人が居て動きようが無い。人の居ない場所を歩いてみるも場所が見つからず。

掛かりそうなポイントを攻めても数は出ず。30尾超えたらいいか〜で終了。

天気が良くてそれなりに釣りが出来たことでよしとしよう。動画 <https://youtu.be/uM0nXMC5r-o>



No. 030

釣行月日: 2022年09月14日(水) 07:00~17:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川(和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 87尾, サイズ: 13cm~20cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨, 韋駄天: 7号4本錨

内容:

台風で今週末の3連休は大荒れかもしれないので、急遽行くことにしてみる。オトリ店に到着するとYouTubeに投稿されている「エクセル釣りチャンネル」さんが居られ谷口さんの撮影をしていました。ちょっとお話してからポイントへ向かう。本当は何年か前に良い思い出をした本宮大社駐車場周辺だったけど、オトリ店に向かう途中釣り人らしい車が2台止まっていたので、結局入川が楽な請川へ入ることになった。

前回よりも水が引いて水位の安定した状態になっている。流れの比較的緩やかな所からやるも反応が無い。

オトリを下流側へ移動させるといつの間にもやら掛かっていた。所謂スパイラル釣法となるのか?

ラッキーで野アユゲット! オトリが替われば周辺で10尾程掛かる。

いつものごとく少しずつ下流へ移動しながら釣っていく。午前中は44尾。竿を畳んで曳舟に鮎を移し、午後からは最上流の瀬肩から始める。最初は掛かるペースは良くなくポイントを探り大体掛かるポイントが判り始め20尾程掛かる。

少し下流へポイントを変えてみたところ掛かるペースも安定してきた。午後は43尾だった。帰りにオトリ店に立ち寄ると朝にお会いした方々とYouTubeに投稿されている「浜辺貴志~釣り好きチャンネル~」の方にお会いできた。あとから来られた名古屋の方たちともちょっと鮎談義。オトリ店の方は記憶力抜群だから訪れた方々のことをよく知ってる。

動画 <https://youtu.be/8bPPLTa-ccY>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.031

釣行月日: 2022年09月17日(土) 07:40~16:40

天気: 晴, 気温: ?, 水温: 18°C

河川: *****

水況: 減水気味, 濁無し

釣果: 22尾, サイズ: 15cm~21cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

3連休で前から期待して計画していた予定が全ておじゃん! 先週今期最終だった遠征を再度行くことになるとは… 2日間なら何とか釣りが出来そうなので行ってみた。藤吉さんらも熊野を予定してたらしく同じ所になるなんて。海・川とも釣り人で賑わっている。今回は第一河川に行ってみる。減水で青藻が枯れてヘチはドロドロで食み痕も確認し辛かった。石の色のよさそうな所を求めてかなりの距離を歩いてしまった。駄目だったら場所替えか隣河川移動するしかない。とりあえず竿を出すことにしてみる。4尾までは簡単に掛かるもあとが続かず。歩いてポイントを探しても掛かる気がしない。車で最下流まで移動してみると釣り人が多く入る余地もないくらい。諦め隣河川へ。こちら釣り人が多いが川幅が広い分十分入れる。前回程テンポ良くはいかないもののそれなりに掛った。型もよく引きも良く釣りを堪能できた。動画 https://youtu.be/_4NdsXf4SkY



No.032

釣行月日: 2022年09月18日(日) 08:00~17:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 21°C

河川: *****

水況: 平水, 濁無し

釣果: 27尾, サイズ: 15cm~22cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175, 0.2

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

オトリ店に券を購入しに行き、途中ブログを公開している方も来られて皆でしばし鮎談義。河川に行くもなんか天気予報よりも風が強い様な? 竿出すと風の影響がどんなものかよくわかる。これで掛かっても獲り込むのに大きなリスクになることは誰しも予想できる。最初の野アユをゲットすることに集中。1尾めは何とか獲り込み、それを持って浅場へ移動。そのアユを放つと間もなくキラリと光り目印に反応がでた。獲り込もうとするも風が強くて切れてダブル放流。これでは竿を持つだけで精一杯で今日は釣りが出来るのか? 水中糸を0.2号に変更してみる。苛立つもどうにもならないこと、とりあえず我慢してみても何とか少しでも掛けて獲り込むことに集中しよう。午前中死苦八苦しながら10尾程獲り込むことができた。場所移動してポイントを探すのが瀬の脇のほうが掛かる気がする。たまに大きなものも掛かり格闘しながら獲り込む。藤吉さんらも午前中はあまり掛からなかったが午後2時頃から急に掛かる時があったらしい。そういえば午後から風も段々と弱まり帰る頃はほぼ無風となっていた。あれは何だったのか… 今年はこの遠征も終了かな? なかなか無い引きを堪能できた。動画 <https://youtu.be/wgPjzhMUAtk>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No.033

釣行月日: 2022年10月01日(土) 12:10~17:00

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 21℃

河川: 赤木川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 11尾, サイズ: 14cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

何としたことか朝目覚めたのは5時過ぎ, 目覚ましをセットしたはずなのにセットが外れていた!?

完全に出遅れてしまった。今回は星撮りを兼ねていたので今晚には行っておきたいところ。出かけても7時過ぎになるので熊野到着には昼頃になってしまいそう。オトリ店に昼頃になりそうと連絡をして出かける。11時過ぎには到着し本流は無理そう。支流は? 赤木の小口辺りは苔がいつも付き過ぎぐらい残っているので行ってみる。

午後からの釣りになったが大水後ごっそり鮎が減った感じがした。大きいものは下ったかも?

やはりどのポイントも掛かりが悪く同じ所では来ない。歩きながらの釣りになりやっとなつ抜けできたくらい。

夜はスターウォッチングで車中泊。動画 <https://youtu.be/BZoRWV9Boyo>



No.034

釣行月日: 2022年10月02日(日) 07:10~15:30

天気: 晴時々曇, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 赤木川・大塔川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 17尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨夜はスターウォッチングで天気予報では晴れの予定が0時以降は曇りで日の出までただ寝るだけとなってしまった。何か撮影できただけでも良かった。今日もまずは赤木川から。昨日やったポイントを再トレースすることになったけど、同様掛かりは厳しかった。場所を移動しながら13時頃までやって16尾。請川まで行っても苔飛んで掛かる気配なし。出合いの大塔川でやってみたが小さいのがまぐれで掛かった。あと溜まりで黄色いアユが掛かったもののオトリにして泳がせてたら根掛り。回収で川に入るのを避けるため強めに引いたら切れてしまった。根掛かりで石にまだ引っかかっているかもと確認しても判らず。逃げた? もう暑さと掛かりの悪さで釣行を断念。

オトリ店に立ち寄って話をしてから帰る。今回が今年最後の熊野釣行かも? 写真 <https://youtu.be/4zpxTAKWNaY>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]

No. 035

釣行月日: 2022年10月09日(日) 09:10~14:10

天気: 曇後雨, 気温: ?, 水温: 19℃

河川: 有田川 (和歌山県)

水況: 平水, 濁無し

釣果: 30尾, サイズ: 13cm~18cm

仕掛(竿): 銀影競技メガトルク早瀬抜90W

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

例年よりちょっと遅めのオフ会。皆が集まるのってなかなかないので、釣り以外でも話はずきないもの。予想してた以上に気温が低く、道中11℃のところもあり車外温度は平均13~14℃。釣りが出来るのかと心配になる。おまけに午後からは雨と条件的には厳しいのでは? 毎年ブドウ園周辺に入るってるので今回も。

吊り橋の上流でやってみることにした。最初はバラしもあったが想定よりも掛かりが良く14時頃までやって30尾。

今年最後?にしては良かったのでは。動画 <https://youtu.be/50XiSjEgWJ0>



No. 036

釣行月日: 2022年10月10日(月) 12:45~15:30

天気: 晴後曇, 気温: ?, 水温: 23℃

河川: 熊野川 (和歌山県)

水況: 若干高水, 薄濁り

釣果: 8尾, サイズ: 12cm~17cm

仕掛(竿): 銀影競技MT?早瀬抜95SG

仕掛(糸): ナイロン0.175

仕掛(針): V5: 6.5号3本錨, 一角: 6号4本錨

内容:

昨日はオフ会で午後2時頃までやってそれなりに掛かって、今日を期待していたのに夜中の雨で濁ってしまった。

粟生まで行って粟生はできそうな感じであったが、これから濁ってくるかもしれないので釣行取止めとした。

熊野経由で帰ろうと車を走らせる。

昼前にオトリ店に到着。ちょっとばかりお話しして、ちょっとだけ釣りをして帰ろうと四村川へ行ってみる。

しかし、枯葉などのごみかなりの密度で流れてくるので、厳しいと思い四村川は断念。本流へと変更し下向橋まで行ってみるも上流ではハメが2つ設置されているので、引き返し本宮大社河原駐車場周辺に行ってみる。

瀬肩辺りでは行けそうなので竿を出してみた。思った以上に追いは厳しく半分がオトリには小さい。

苔もまだ付いていない状態だったので早々に終了とした。今期最後にしようかと思う。動画

<https://youtu.be/MKC9AujfE5g>



2022年版 [釣行回数: 36回 平均釣果: 47.6尾 総釣果: 1,714尾 1日最高釣果: 112尾 最長寸: 23cm]